



北九州ゾントクラブ

美苑書



会長としての1年を振り返る

会 長 三隅 佳子

東日本大震災から2年が経過しました。復興の槌音が広がっているとはいえ、地震と津波に加えて原発事故の発生は私たちに多くの課題を投げかけ、中でも「絆」や「連携」の大切さを再確認させることになりました。

2012年6月の会長就任後にトリノで開催された国際大会には、北九州クラブから6名が参加。私もデリゲートとして役員選挙やパイロウズの審議に携わりました。その中でLAA委員会は名称がアドボカシー委員会となり、私も国際委員に任命されました。役割が果たせるかどうか心配でしたが、ゾントや国際的な女性の動きについて学ぶ機会が増え「世界中の女性の地位の向上」を目指すゾンシャンの意識の高さと積極的な行動に感銘と刺激を受け、自らの努力不足を反省し頑張らなくてはと思うようになりました。

さて、北九州ゾントクラブ最大のイベントであるハートフルパーティは、安奈淳さんの「ハートオンハートコンサート」で盛り上がりました。会員の努力で参加者は300人を越え、九州工業大学留学生医療基金、公益財団法人九州盲導犬協会、特定非営利活動法人ロシナンテスに会場で寄付の贈呈を行い、参加者全員の気持ちをお伝えすることができました。

ローズデイ記念事業は「東日本大震災3.11を忘れない～防災・災害支援における男女共同参画～」がテーマです。3人のパネリストの話アドボカシーにつなげたいと思います。

とにかく夢中で走った1年間でした。北九州ゾントクラブ会員のご協力と暖かい友情、26地区役員や他クラブの方々のお励ましとご指導に支えられ、充実した1年を過ごすことができました。「おかげさまで」と「ありがとうございました」以外の言葉はありません。残す1年をどうぞよろしく願います。

第61回国際大会

ベネチア前泊でトリノ世界大会に参加したメンバーは、三隅・久保・末吉・千代丸・河邊です。会場は自動車工場あとのリンゴットです。第1日目は午前中受付で資料とカバンとネームプレートを渡され開会式は夕方7時からそれぞれの民族衣装で世界中(2,300人)のゾンシャンが集まり見事でした。翌日からのビジネスセッションは、同時通訳なのでとてもわかり易く面白いものでした。パイロウズの各項目の変更です。スクリーンに賛成・反対の割合がでて順次決定されていくのがよくわかりました。例会等の会合をネット会議のように「IT機器を使用しては」と

いう意見もだされましたが皆が集まって話し合うことが大切だということになりました。各委員会が大まかな表現になり職業分類も時代により変化するのも納得です。オプションの地元デザイナーのファッションショーも楽しいものでした。ミラノ観光やトリノのお城の見学も楽しみました。

千代丸孝子



ハートフルパーティを終わって

2012年11月27日

今回は「ベルサイユの薔薇」でお馴染みの元宝塚トップスター安奈淳さんを招いてのコンサート。久方ぶりの担当で戸惑いながらも無事当日を迎えることができました。会場に着くと既に受付待ちの方々がいるのには驚かされました。今回は寄付贈呈先の方々にご臨席いただき会場

で贈呈式を行いました。ご参加の皆様にご参加の活動の一部を身近に感じていただけたことと思います。

コンサートは「すみれの花」で始まり懐かしいシャンソンを中心に最後は「愛の賛歌」で締めくくり、会場は優雅な大人の雰囲気の中で歌声に酔って心満たされました。

シェフのゾンタ特製ディナーは口とお腹を魅了し、話題の花が咲き乱れて賑やかなこと。パーティも順調に進んでお待ちかねのビンゴゲームは毎年のことながら企業の方のご協賛、ご協力を得て盛り上がりました。ご参加いただいた皆様のご支援と会員の行動力に助けられた今年のパーティも盛況裡に幕を閉じることができました。有難うございました感謝でいっぱいです。

実行委員長 加藤 千佳



高松Ⅱゾンタクラブ認証状伝達式に参加して

2012年9月1日、丸亀市オークラホテル丸亀において、厳かに認証状伝達式が行われました。SOMクラブは高松ゾンタクラブ。時間をかけてゆっくり作り上げたクラブであるという様子が

伺える式典でした。お囃子入りの長唄には高松クラブのメンバーも出演されており、文化度の高さとともに

親クラブとしての愛情も感じさせられました。

初代会長は、学校経営をなさっておられる藤井睦子様。ゲストは三宅定子ガバナーを始め、地区役員の方々。国際ゾンタ100周年委員のエミー・ライ様も駆けつけて下さいました。

北九州からは三隅会長を始め、中村・加藤・丸山・大石の各会員そして木下が参加させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。

新クラブのご発展をお祈り申し上げます。

木下 彰子



ローズデイ記念事業 東日本大震災 3.11を忘れない ～防災、災害支援における男女共同参画～

2013年3月16日土曜日、ムーブにおいて80人以上の参加者を得て、今年のローズデイ記念事業のパネルディスカッションを開催しました。パネラーは、東日本大震災3.11ゾンタプロジェクト支援副委員長の岡部文子様。北九州市危機管理室東日本大震災支援対策担当課長の上村鋭治様。そして、ジャーナリストであり、和光大学教授・東日本大震災女性支援ネットワーク共同代表の竹信三恵子様。

豊田副ガバナー、上田広報／コミュニケーション委員長、好永エリアディレクターもご参加下さり、今までいろいろな方法で知らされてきた情報とは異なった角度から災害支援に「なぜ女性の視点」が必要なのかを考えさせられる内容でした。また効果のある支援を行うには日頃からの情報・ネットワークの構築が必要であることも学びました。

実行委員長 木下 彰子



安芸コスモスゾントクラブ10周年記念式典

2012年11月3日、安芸コスモスゾントクラブ「10周年記念式典・講演」が行われ北九州から3名が参加しました。

式典では市長他4名の方のお祝辞の後、8団体の寄付者に対し感謝状が贈られました。中でも（財）広島母子寡婦福祉協議会へ寄贈した自動車「ZONTA号」が玄関フロアにご披露されていました。

記念講演のテーマは「私と広島 ヒロシマ・フクシマの関連」。元アナウンサー杉浦圭子氏の朗読。「ヒロシマの被爆とフクシマの被爆を考える」。講師は、京都大学原子炉実験所の今中哲二氏。

原爆や原発は人の心と体に長期間に亘り恐ろしい影響を及ぼすということを改めて認識しま

した。

お二人の感動的なお話と、専門性に富んだ内容に非常に感銘を受けました。

丸山 政子



第5回エリアミーティングに参加して

爽やかな五月晴れのお天気に恵まれた鳴門への道程はのどかな昔懐かしい駅舎で乗り換えを楽しみながらの4時間でした。

ビジネスセッションは順調に審議可決されました。ワークショップⅠは難しい内容ながらも三隅会長の話術に導かれ、アドボカシーについて参加者の意識は一步前進したようです。ワークショップⅡでは「3.11の震災から学んだこと及び福島の現状の報告」「各クラブの資金集めと奉仕活動」震災は記憶に留めるのではなく長期的に心を傾け行動していかなくてはならないとの思いを強くしました。そして各クラブとも

苦勞しながら積極的に活動されており、参考になりました。講演会は「人生・いろいろ」過疎の村上勝町で平均年齢75才という高齢者が生きがいを持って働いていることに力づけられた反面、経済力が生きることへの励みになることは理解できるものの「孫に家を与えることが出来た」との話は、孫の「自活力を損なうのではないか」という一抹の危惧を覚えたのはやっかみでしょうか。帰りの時間が迫り講評まで聞けなかったのは残念でしたが、コンパクトながら充実したエリアミーティングでした。

加藤 千佳

北九州ゾンタクラブ年間行事報告 (2012.6.1~2013.5.31)

2012年

- 6月 役員会、総会、定例会
- 7月 役員会、定例会
7日~12日 国際ゾンタ第61回国際大会(イタリア・トリノ)
6名参加
- 20日 国際ゾンタ第1回理事・役員・委員長会 2名参加
- 29日 SEN姫路ゾンタクラブ認証状伝達式 1名参加
兵庫県立大学ゴールドンZクラブ 認証状伝達式
- 8月 役員会、定例会(会則の見直し)
- 9月 役員会、定例会
1日 高松Ⅱゾンタクラブ認証状伝達式 6名参加
- 10月 役員会、定例会
5日 中華民国101年国慶節 3名参加
7日 京都雅ゾンタクラブ20周年記念式典 1名参加
8日 第1回26地区アドボカシー(政策提言)委員会 1名参加
15日 (第1回卓話)第61回国際大会参加者の報告
- 11月 役員会、定例会
3日 安芸コスモス10周年記念式典 3名参加
27日 ハートフルパーティ2012
「安奈 淳ハートオンハートコンサート」開催
- 12月 役員会、定例会
10日 九州工業大学 交流の集い 2名参加
12日 近大姫路大学ゴールドンZクラブ 認証状伝達式
チャリティディナーショー 1名参加
22日 ローズデイ実行委員会

2013年

- 1月 役員会、定例会
12日 北九州UNWomen主催 上野千鶴子講演会 10名参加
21日 新年会
- 2月 役員会、定例会
7日 ローズデイ実行委員会
13日 西南女学院大学ゴールドンZクラブ設立準備会
- 3月 役員会、定例会
15日 九州工業大学留学生送別懇談会 2名参加
16日 ローズデイ記念事業 パネルディスカッション
「東日本大震災3.11を忘れない
~防災、災害支援における男女共同参画~」開催
- 4月 役員会、定例会
7日 大阪Ⅱゾンタクラブ20周年記念式典 3名参加
15日 (第2回卓話)「88年の人生を支えてきた力」
天川悦子会員
- 20日 エリア3エリアミーティング 福井 1名参加
- 5月 役員会、定例会
12日 第5回エリア4エリアミーティング 鳴門 3名参加
31日 会報19号発行

寄付活動

九州工業大学留学生医療基金
公益財団法人九州盲導犬協会
特定非営利活動法人 ロシナンテス
ローズ基金
アメリカ・イアハート奨学金
J.M.クロズマン奨学金
YWPA奨学金

役員・委員会構成

平成24(2012)年6月~平成26(2014)年5月

会 長	三隅 佳子		
副 会 長	木下 彰子		
書 記	丸山 政子 香川 稔子 (エレクト)		
会 計	千代丸孝子 河邊 政恵 (エレクト)		
理 事	天川 悦子 大石紀代子 久保 幸枝		
監 査	加藤 千佳		
財務プログラム 委 員 会	◎遠見 徳子 千代丸孝子	○河邊 政恵 中林 和子	田島 絃子 吉田 秀子
会員委員会	◎大石紀代子 佐藤 鈴子 東 愛子	○岡 ひろみ 末永三枝子 李 丁出	柿内よし子 早水富美子
アドボカシー (政策提言) 委 員 会	◎木下 彰子 末吉 房代 丸山 政子	○香川 稔子 徳永 利枝 三宅まゆみ	久保 幸枝 西岡 和子
国連・広報 委 員 会	◎大谷 美幸 坂本 直美 堀 奈緒美	○加藤 千佳 田中 和子	天川 悦子 中村 尋子

◎印=委員長 ○印=副委員長

毎月/役員会 (第1土曜日) 男女共同参画センタームーブ
定例会 (第3月曜日) リーガロイヤルホテル小倉

発行日: 2013年5月31日
発行責任者: 北九州ゾンタクラブ 会長 三隅 佳子
事務局: 北九州市小倉南区葉山町2-3-1
編集: 国連・広報委員会 委員長 大谷 美幸